

# 動物園

## よもやまばなし



6

### 動物の体温調節のあれこれ

暦の上では秋である今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年の夏、皆さんはたくさん汗をかいたことでしょうか。この汗にはさまざまな役割があります。やはり体温調節の役割がよく知られているところではないでしょうか。人間は、体温が上昇すると汗腺から汗を出し、水分が蒸発する際に熱を放出することで体温を下げます。では、ほかの恒温動物も汗で体温を調節しているのでしょうか。



カンガルー

実は汗で体温調節をしている動物はまれです。汗腺があり、かつ汗で体温調節が可能なのは人間とウマのみだそうです。汗をかくことにより長時間の運動が可能になるよう進化していったと言われています。では、ほかの動物はどんな体温調節をしているのでしょうか。フェネックなどの暑い地域の動物は体の一部が大きく進化しており、そこを放熱器官としています。イヌなどは口を開けて舌を出し、唾液を蒸発させて体温を下げます。カンガルー類は身体を舐めて唾液を蒸発させることで汗と同様の体温調節をしています。カピバラの水浴やタヌキの換毛も体温調節の主な例だといえるでしょう。

このように、動物は種に



カピバラ

よってさまざまな体温調節の方法を持っています。いくつかは当園でも観察することができるので、ぜひ見に来てください。

さて、ここまでさまざまな動物の体温調節の方法を紹介しましたが、私が思う最大の体温調節方法は、40度近い気温を20度まで下げることができる人類の英知エアコンです。まだまだ残暑は続くと思われませんが、適切な体温調節を行い、熱中症にならないよう気を付けて乗り切っていきたいと思います。

キリン担当

いしだ

石田

かずや

和也

技術員



タヌキ

問い合わせ先 未来へはばたけ山田製作所 桐生が岡動物園 (☎224442)

### 桐生っ子

市内に居住する3歳まで(申し込み時)の桐生っ子を募集します。

申し込み = Eメール (miryoku@city.kiryu.lg.jp) にお子さんの氏名(ふりがな)、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課 (☎内線505) へ。



うらの しょうよう 浦野 昇陽ちゃん  
1歳5か月  
(広沢町五丁目)



たかはし ひなと 高橋 陽澄ちゃん  
2歳6か月  
(琴平町)



たかはし あおひ 高橋 葵陽ちゃん  
1歳3か月  
(琴平町)

広告